

NICKIA

NIKKO CITY INTERNATIONAL ASSOCIATION

10 October, 2019
No. 26



【特集】中高生の姉妹都市交流
Nikko City Rapid City Exchange Program



姉妹都市ラピッド市に行って変わったこと・成長したこと

今年も7月22日から8月2日までの日程で、市内の中高生12名がラピッド市を訪問しました。10泊12日間という決して長くはない期間ですが、今回は派遣前と派遣後で中高生がどのように成長をしたのかという事に焦点を当てて、皆さんにお伝えしたいと思います。

宇都宮短期大学附属中学校 2年 ^{さかもと}坂本 ^{たくみ}拓海

今回の派遣でいくつかの強い思い出があります。一つは人生初の飛行機。食べ物は全て大きく、バッファローハンバーガーは初めて食べる味だったし、ホストファミリー宅で焼いてもらったステーキもおいしかったです。ホストファミリーもラピッド市の人々もとても優しく感謝しています。またラピッド市へ行きたいです。

東原中学校 2年 ^{やまなか}山中 ^{ゆいな}結愛

今回、もう一度ラピッド市へ行くという新たな目標が出来ました。ラピッド市の人に質問されても、分からず戸惑ってしまい答えられないことが何度かあり、悔しい思いをしました。次回はもっと勉強して、成長した自分でラピッド市に行きたいです。



東原中学校 2年 ^{ふくだ}福田 ^{なつ}花摘

日本とアメリカの文化や生活の違いについて感じたことはアメリカでは初対面の人との関わりを大切にしているという事、そして思いやりです。ホストファミリーのお父さん、クマーさんはいつでも私たちのことを一番に考えてくれました。初めて家に入った時は何がどこにあるかを全部教えてくれたり、次の日の朝家を出る時間をあらかじめ教えてくれたり、私が体調を悪くしてしまった時はすごく心配してくれました。本当の家族のように接してくれました。朝食や夕食の時に一緒に笑いあっている時間がすごく大好きでした。今回の経験でコミュニケーションをとる楽しさを知り、外国人と関わりコミュニケーションをとる職業に就きたいと思いました。

鹿沼高等学校 1年 ^{さくま}佐久間 ^{はづき}葉月

今まで私は正しい英文で話すことを重視しすぎてうまくコミュニケーションが取れていませんでした。しかし途中、本当に大事なことはコミュニケーションをとろうとする気持ちと自分の思いをはっきり伝えることだと気づきました。ホームステイ後半では、どうにか思いを伝えようと積極的に話す努力が出来ました。自分の英語が相手に伝わったときの嬉しさを感じるとともに、もっと英語力を身に付けて楽しい話をたくさんしたいと強く思いました。

東中学校 3年 ^{やまもと}山本 ^{もも}桃

私は将来、ファッション関係の仕事につきたいと思っているので、日本にはないネイティブアメリカンのビーズや羽を使ったアクセサリは新しい発見でした。最近では日光に来た外国の人たちと積極的に会話をするようになれました。



今市高等学校 2年 ^{ちむら}千村 ^{にき}日葵

今回は、人前で話すことが苦手なことや他人に任せきりな性格を変えたいと思って、思い切って応募しました。今回の派遣を体験して、より自分の将来について考える事が出来ました。行く前は、国際系の大学に進もうかな、となんとなく考えていましたが、アメリカの大学に進学したいという夢が出来ました。

鹿沼高等学校 2年 ^{いみ}飯見 ^{けんしろう}健士郎



ホストファミリーと過ごした10日間はあっという間で楽しかった分、別れは辛いものでした。今でもあの時に戻りたいです。将来もう一度ラピッド市へ行き、今回出会った人たちに会いに行きたいです。アメリカで経験したこと、大切な人たちの出会いに感謝してこれからの毎日をより大切に過ごそうと思います。

今市高等学校 2年 ^{なかしま}中島 ^{かずき}千貴

ホームステイの一番の思い出は、日々の会話です。ただの会話でしたが、僕にとってはかけがえのないものでした。今度、彼らが日本に来るときは、中島家に泊まりに来ると言ってくれました。その時は歓迎し、日光の良い所をたくさん紹介したいです。今回僕はこの体験をして進路を確定しました。しっかりと将来に生かしていきたいです。



栃木女子高等学校 2年 ^{さとろ}佐藤 ^{あやか}絢香

英語が苦手な私にとって今回の派遣事業は大きな挑戦でした。またホストファミリーもしたので、私の交流はそこから始まりました。初めはスマートフォンで調べてそれを見せるばかりでしたが、毎日生活を共にしていくとだんだんと自分の英語で伝えられるようになりました。ラピッド市での10日間で友達やホストファミリー、そしてラピッド市の人々はたくさんのことを教えてくれました。英語に自信がなかった私に「とても上手だよ、自信を持って」や、「あなたは良いリーダーになれると思うよ。」と言われ自分では見つけられなかった可能性を教えてもらえました。



今市工業高等学校 2年 ^{かみやま}神山 ^{けいと}慧斗

難しいと感じたことは、やはり会話でした。それでもホストファミリーデーにみんなでハイキングへ行き、マウンテンバイクに乗ったり、山に実っているラズベリーを食べたりしたことは良い思い出です。これからこのような機会があれば積極的に参加して、自国の良い所をアピールしていこうと思いました。

作新学院高等学校 2年 ^{てづか}手塚 ^{かりん}香琳

今回の派遣でアメリカと日本の文化の違い、そして自分の英語の出来なさも実感しました。自分の話したことがホストファミリーに理解してもらえなかったこと、ラピッド市で出来た友達とももっと自分が話せていけば会話が弾んだのに、と悔しい思いをしました。逆に通じた時は自信につながりました。必ず英語を上達させてまたラピッド市に行きたいです。

鹿沼高等学校 2年 ^{せきや}関谷 ^{あずみ}明澄

僕はこのラピッド市中高生派遣事業を通してたくさんの経験をし、学ぶことが出来ました。僕は1人でのホームステイだったので若干の不安と緊張はありましたが、ホストファミリーが温かく迎えてくれたので、その不安はすぐに消えました。日中は派遣生皆でラピッド市内の見学をしました。行く所行く所どこも楽しく、興味深い所ばかりでした。その中でも僕の中で特に印象に残っているところは、バッドランズ国立公園です。広大で荒々しい岩山が広がり、五十万年の歳月をかけてできたその光景は、まるで現実ではないかのようでこの世界の広大さを感じることが出来ました。

週末のホストファミリーデーの1日目は一面にトランポリンと大きなプールがある施設で遊びました。2日目はハイキングへ行き、午後はゴルフそして家に帰って皆でエアホッケーと卓球のトーナメント、夜は火を焚いてマシュマロを焼いて、「スマア」というデザートを作って食べました。この日が一番楽しくて僕の大切な思い出です。ホストファミリーの同い年のアレックとはこの日以外にも2人で夜景を見に行ったり、ショッピングに行ったりたくさん思い出を作りました。また進路の話をする中で、僕も彼も将来の夢が同じで進むのも言語系の大学でした。彼は数年後にまた日本に来るそうで、その時に会う約束をしました。もっともっと英語の勉強を頑張らないとな、と思いました。

アメリカという国を訪れて感じたことは美男美女が多いとか、何もかもが大きいとかもありますが、まじめな所と言うと、食べ物を残すことにためらいがない、というところですか。これは、世界には食べ物が満足に食べられない人々がいる中で良くないなと思いました。しかし、アメリカ人は皆親切で寛大でフレンドリーでとてもとても良い人達で、良い国だなと感じました。

今回の派遣で得られたものはとても貴重で自分を成長させてくれました。ホストファミリーとは今もSNSでつながっており、これからもそうでしょう。僕は別れる際に、今度自分でお金を貯めて、家族全員をラピッド市に連れてくると約束しました。今は逆にラピッド市が恋しくホームシック気味です。いつか僕の大切な二つの家族が会えることを夢見ながら頑張っていこうと思います。

最後にこの事業に携わったすべての人々、日本の家族、現地のホストファミリーに感謝をしています。ありがとうございました。



ラピッド市受け入れ事業



◆◆◆ ラピッド市学生&引率者 メンバー紹介 ◆◆◆

今年は4名の学生と1名の引率者が7月14日～7月22日までの間、日光市を訪問、ホームステイ体験をしました。日光市の派遣生との交流は受入から始まり、ラピッド市でも案内をしてもらいました。



ベラ・ホフマン (Bella Hofmann) 16歳

去年も日光に来ました。将来は外科医になりたい!外科医になって日光に戻ってきたい。日本語も勉強中です。

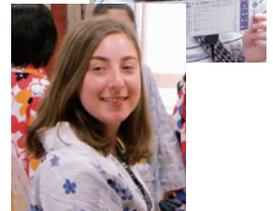
アビー・アームストロング (Abbie Armstrong) 17歳

写真を撮るのが好きです。高校での部活はテニスと写真クラブに所属しています。地域の様々なイベントにも参加しています。



オリヴィア・アームストロング (Olivia Armstrong) 17歳

私も、高校での部活はテニスと写真クラブに所属しています。地域での様々なイベントに参加したり動物保護のボランティアもしています。



エンジェル・ホワイトアイズ (Angel White Eyes) 18歳

大学生になったばかりで、最近ラピッド市に引っ越してきました。高校では作詞クラブに所属していました。料理、特にお菓子作りが好きです。

引率者【Chaperons】 マルゴ・カレダ (Margo Kaleda)

自転車やハイキング、手芸が好きです。ラピッド市日光市姉妹都市協会の役員も務めています。娘は2回、夫は1回日光に来ていますが私は初めてです。



High Lights

今回は、派遣生の中に生徒が2名いたこともあり、今市高等学校を訪問しました。参加させていただいた授業は、『書道』と『ファッションデザイン』という選択授業でした。書道では難しい漢字に挑戦しました。慣れない漢字は、書き順やバランスを生徒に見せてもらい、オリジナルのうちわを完成させました。



ファッションデザインの授業では生徒たちが作った浴衣を用いて、着付けの方法を教えてくださいました。帯の巻き方に苦戦しつつも生徒達に手伝ってもらい上手に着ることができました。また、浴衣や着物は着方によって長さを変えられ、少し作り直すことで、成長しても長く着られるよう日本人の知恵が詰まっているということも学びました。



初めての足湯



写経にも挑戦しました!



市長を表敬訪問



お別れ会にて。次はラピッド市でよろしくね☆



司会も派遣生がしました

***** ホストファミリーをやってみませんか? *****

日光市国際交流協会では、海外姉妹都市ラピッド市から毎年夏(7月中旬から10日程度)に中高生の受け入れ、そして1年おきの秋(10月中旬に1週間程度)に大人の訪問団の受け入れを行っています。ホストファミリーとは、訪問の期間中海外の学生もしくは訪問団員を、家族の一員として迎え入れ、寝る場所、朝ごはん、晩御飯などを提供していただいています。また週末のプログラムがない日は一緒に過ごしていただいています。平日の日中(概ね朝9時~夕方5時)は当協会プログラムを用意していますので、市役所までの送迎をお願いしています。

これまで受け入れてくださった方から、「大変なこともあったけれど、とてもいい経験になった。」、「海外に友達ができうれしい!今度はラピッド市へ遊びに行きたい。」などの感想をいただいています。

英語が話せなくても、特別な用意がなくても心配はいりません。訪問者は日本の日常の生活を体験したいと思っています。どうぞお気軽にお問い合わせください。

日光市国際交流協会ホームページからも登録の申し込みが出来ます。

<https://www.nikkocity.org/volunteer.html>



前期事業報告



令和元年度前期に各部会が開催した事業について報告します。

総会・懇親会

5/9(木)

@日光市中央公民館

前年度の事業報告、今年度の事業計画と予算について話し合わせ、無事に終了しました。今回は高校生の参加もあり、若い世代の意見を聞くこともできました。



デンマークのティータイム

6/22(土) @サクシード日光

デンマーク出身のリサさんに、ルバーブパイとデンマークのパンケーキの作り方を教えていただきました。ルバーブを初めて食べる参加者も多いなか、酸味のあるパイのおいしさに皆驚いていました。パンケーキはサクサクの食感にするために、ビールを混ぜるワンポイントも教えていただき、デンマークのデザートを楽しみました。調理後はリサさんからデンマークの文化も教えていただき、楽しいひとときを過ごすことができました。



ボランティアフェスタ2019

9/7(土) @今市文化会館

今年は夏に姉妹都市ラピッド市へ派遣された4名の生徒が派遣の様子を発表しました。ブースでも派遣者全員が作成した派遣の様子を紹介するボードを掲示し、多くの方に活動を紹介することができました。



ポットラックパーティー

8/17(土)

@日光市中央公民館

ポーランド、インドネシア、ロシア、台湾の方をゲストにお招きし、持ち寄った各国の料理を楽しみました。料理の説明や、出身国の話など、料理を囲みながら会話が弾んでいました。ゲストの方が文化紹介をしてくださり、日本との文化の違いを学ぶこともできました。



イラン料理教室

9/23(月) @サクシード日光

イラン出身のメヘディさんに「ゼレシクポーロ バ モレグ」という香辛料で飾ったごはん、鶏肉を使ったイランの家庭料理を教えてくださいました。香辛料で柔らかく煮込んだ鶏肉と、サフランで色付けし、メギの実が入ったご飯に、参加者は美味しいと喜んでいました。付け合わせに作ったキュウリのサラダもさっぱりして美味しいと好評でした。作った料理を食べながら、イランの文化についてもお話いただき、イランについての知識を深めることができました。



料理講座に参加された方の声を紹介します♪

初めての味に出会えて感激です!!
また参加してみたいです。



紹介していただいた国が身近な存在になりました。



自由な雰囲気でもりリラックスしながら、楽しく参加できました。



初めて国際交流の体験講座に参加しました。今後も参加して交流を深めていこうと思います。



定期的に行っています

日本語教室

3~6月、9~12月
@市民活動支援センター

「日本語教室」では日光在住の外国の方にボランティア教師さんが日本語を教えてくださいました。現在はベトナム、フィンランド、中国、アルゼンチンの方などが来てくれています。どなたでも参加可能です。

詳しい日程は協会HPで随時お知らせしています。

バスツアーに行ってきました!!



今回の行先はディズニーシー。日本語教室の生徒と先生、会員が参加し、楽しいひとときを過ごしました。初めて行く生徒さんが多く、思い出作りになったようです。

日光市国際交流協会について About Us

私たちは、国際交流、国際理解の向上を目指し、様々な活動をしています。姉妹都市交流をはじめ、海外の文化、外国の方との交流、異文化体験をしてみませんか？日光市の特性を生かした市民レベルの交流活動を行います。お子様からご年配の方まで、楽しんで学べるイベント、講座などを計画しています。ぜひ、お気軽にお越しください。

会費について Admission Fee

個人会員：3000円

家族会員：5000円

法人会員：10000円

※会費の資格は毎年4月に自動更新されます。退会ご希望の方は翌年7月までにお申し出ください。

協会会員データ Number of Members

個人会員：219人

家族会員：13家族

法人会員：46法人

※R1年10月現在

日光市在住外国人数

1007人（ベトナム…252人、フィリピン…156人、中国…145人、台湾…75人、韓国…63人）

※R1年10月現在

ボランティア登録について

当協会では下記のようなボランティアを募集しています。詳しい情報や登録を希望される方はお問い合わせください。

●ホストファミリー

海外からの短期訪問者を家族の一員として受け入れしてくださるご家族を募集しています。

●日本語教師ボランティア

在住外国人向けの日本語教室にて、日本語を教えていただけるボランティアを募集しています。資格・経験は問いません。学習者に日本語を教えてみませんか？見学もできます。（原則第1、2、4木曜日）詳しくはHPで

●国際理解推進員募集

当協会では日本人、外国人を問わず、国際理解や異文化教育（言語、文化、歴史、舞踊、料理、物づくりetc）に関わる講師をしてくださる方を募集しています。

●翻訳・通訳ボランティア

当協会と日光市が発行する資料などの各種言語への翻訳や海外からの訪問者の通訳などにご協力いただける方を随時募集しています。特に、資格等は問いません。

今後のNCIA イベントスケジュール

10月27日(日) ハロウィン体験2019

11月4日(祝) オリエンテーション&フィールドワーク①@社寺周辺

11月10日(日) フィールドワーク②奥日光エリア

12月7日(土) シンポジウム（学生の提言・発表）@宇都宮大学

12月21日(土) クリスマスパティー

1月31日(金) 作って食べよう世界のごはん～ウクライナ編～

未定 中高生による国際交流イベント

大使館ツアー、日本語教授法講座など

宇都宮大学との連携プロジェクト
国際交流都市日光の再発見
～観光モデルを留学生と考える～

詳しくは改めてご連絡いたします。ぜひお見逃しなく★

事務局
連絡先

日光市国際交流協会事務局（日光市観光経済部観光課内）

〒321-1292 日光市今市本町1番地

TEL:0288-21-5196 FAX:0288-21-5121



Email: kankou@city.nikko.lg.jp ホームページ: <http://www.nikkocity.org/>

Facebookページを開設しました。 [日光市国際交流協会 Facebook](#) で検索！